

角田支局記者 会田正宣 の Let's KAKUDA!

「アジアとの草の根の交流」

中国の内モンゴル自治区出身で、故郷に学校をつくる活動を続けてきた歌手ボルジギン・イリナさんが、民族音楽と舞踊を学ぶ内モンゴルの子どもたちを連れて角田小を訪問し、児童と交流を深めました。イリナさんは学校建設の活動を14年前に始めましたが、そのスタートは角田でした。東日本大震災の被災で解体を余儀なくされましたが、天神小劇場でチャリティーコンサートを行ったのが出発点です。私自身はそのころ仙台で、イリナさんの活動取材したことがありました。14年の間に学校が2校建設されました。今も変わらないイリナさんや、活動を支えてきた角田の人々を、今度はこうして角田で取材に携わっているのは、巡り合わせを感じて大変感慨深いものがあります。振り返ってみると、草の根の国際交流というテーマが20～30年前の当時、トレンドとしてあったと思います。特に、「近くて遠いアジア」との交流が積極的に模索されました。中国は今ほど経済成長を遂げておらず、経済交流の必要性も手伝って両国に友好的な空気がありました。韓国は「漢江の奇跡」と言われた成長を達成して社会にゆとりがあったためか、日韓関係が雪解け、文化開放の流れが進みました。タイも政情が安定していました。イリナさんを支援してきた角田市民も、イリナさん個人というより、アジアとの交流という大きなテーマの中で見ていたと思います。市内では他にも、かつて単協だった当時の角田市農協の青年部関係者を中心とする農業者が、アジアとの交流を行っていました。その活動は、東工大の留学生が冬に角田に来て、ホームステイしながら農業体験を行う交流事業という形に残っています。稲作地帯の文化を基底に置いた取り組みは、田園都市・角田ならではの発想として再認識されてしかるべきでしょう。角田の国際交流は民間からの盛り上げに支えられていました。今、そのパワーがやや落ちているように感じられるのは残念ですが、交流人口の拡大や、訪日外国人旅行者(インバウンド)の誘致のようなテーマは、本来、民間の自主的な活動の上に機運が醸成されることが望ましいわけですね。交流人口の拡大がよく言われますが、中身や在り方について、しっかり考えるべき時期ではないでしょうか。

日刊スポーツ版2017プロ野球選手写真名鑑・当店店頭にて差し上げております。

河北新報角田支局 会田正宣
kakuda@po.kahoku.co.jp ※連絡の行き違い防止のため、配達関連の連絡は販売所までお願いいたします。→
TEL 0224-62-1568/FAX 0224-62-0707



小田川沿いの鯉のぼり

編集後記

●緊急速報です！5/7のヤクルト戦では先発完投。3失点で負けは付きましたが自責点は「0」。5/17の日ハム戦では先発して7回を投げ無失点。見事勝ち投手になりファームで好調だった横浜DeNAベイスターズ・熊原健人選手が、25日に開催された横浜DeNAベイスターズ対中日ドラゴンズ戦で、ついに今季一軍初登録・初登板・初先発♪5失点ながら見事初勝利を飾りました！6月7日の横浜DeNAベイスターズと楽天との交流戦にも登場してくれる可能性が高まって参りました。後援会主催のバスツアーも実施されますので、みんなでコボパークを盛り上げて来たいと思います。●楽天、開幕から首位独走中！！毎回野球中継が楽しみで楽しみです。ホント河北新報一面にマジック点灯しちゃって欲しいくらいです♪●Bリーグでは89ERSは降格が決定してしまいました。殆どのBJリーグ出身チームが降格。せっかく統一リーグになったのに来シーズンはBJリーグ再開みたいな雰囲気になっちゃいますね。一年で一部復活しないと当分厳しそうです。頑張れ！●ベガルタ仙台はリーグ戦現在14位です。しかしながら、ルヴァンカップ戦はなんとAグループ暫定首位で終了！この結果をリーグ戦に生かしてほしいものですネ。●あんふいには市内の皆様からの楽しい話題やイベントのお知らせ、スポーツ団体の団員募集などの情報提供をお待ちしております。お気軽にご連絡ください。●宮城のスポーツ情報や東北出身選手の情報は是非河北新報で♪

次回「あんふいに」は6月25日(日)発行予定です。

☆皆様からのイベント情報等をお待ちしています。原稿は毎月二十日頃までに、当店へ直接お持ちいただくか、FAXまたはメールにてお送り下さい。

編集 河北新報目黒新聞店
発行 〒981-1505
角田市角田字泉町137-2
フリーダイヤル (読むニュース)
0120-46-2004

皆様の元気のお手伝いを

月刊 あんふいに

第346号
平成29年6月号
【毎月最終日曜日】
発行予定

わが家のカレンダー プレゼント！！

いつも河北新報・朝日新聞・毎日新聞をご愛読いただき、誠にありがとうございます。目黒新聞店では、日頃のご愛顧に感謝して、ご家族やペット、趣味など記念や思い出に残したい写真を「オリジナルカレンダー(2017年下半期用)」にして無料でプレゼントいたします。



- 応募条件／河北新報・朝日新聞・毎日新聞を現在6ヶ月以上ご購入いただいている方、または新規に6ヶ月以上ご購入いただける方。※1購読につき1枚のサービスとさせていただきます。2枚以上(2種類も含む)ご希望の場合は有料となります。(追加1枚につき300円頂戴します。)
- 仕上がり／カラーA3サイズ(297×420mm) 2017年7月から半年間のカレンダーをいれ、ラミネート(パウチ)加工してお渡しいたします。
- 応募方法／下記の申込書に必要事項を記入し、カレンダーに載せたい写真を同封の上、河北新報角田販売所目黒新聞店まで直接お持ち込み下さい。
- ※ 写真のサイズは『【サービス判】から【A4(210×297mm)】』までとさせていただきます。なお、受注管理のため、写真を入れた封筒に【お名前】【ご住所】の記入をお願いいたします。
- ※ 写真はカレンダーと一緒に返却いたします。
- 応募受付／6月1日(木)～6月15日(木)まで
- お受け取り／出来上がり次第順次ご連絡差し上げますので、引換券の日付をご確認の上、当販売所までお受け取りに来ていただきますようお願い申し上げます。

キ...リ...ト...リ...セ...ン

目黒新聞店『わが家のカレンダー』プレゼント 申込書

ご住所	電話番号
ご契約者名	年齢 才

No.	購読内容(どちらかに○を)	
枚	<ul style="list-style-type: none"> 現在購読中 新規で6ヶ月購読希望(平成 年 月から) ご希望枚数()枚 	
出来上がり予定日	※2枚目以降は1枚につき300円となります。 ※お預かりした個人情報適切に管理いたします。	

わが家のカレンダー引換券

お名前

ご住所

No.	枚	円
出来上がり予定日		
角田字泉町137-2 目黒新聞店 ☎63-3154		